

皆様の暮らしに安心と活力をお届けする情報紙

クリンパ

くりーんぱーく便り

株式会社門前クリーンパーク 輪島市門前町剣地口1番地 TEL.&FAX.0768-45-1820

January vol.17

皆様おすこやかに新春をお迎えのことと存じます。旧年中は格別のお引立てをいただきまして厚く御礼申し上げます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、G7伊勢志摩サミット出席のため来日したアメリカ合衆国大統領オバマ氏（当時）が、現職大統領として歴史上はじめて広島を訪問されました。その17分にも渡るスピーチは、ニユースなど報道の枠を超えて、大きな反響を呼びました。これからアメリカを先導していくことになる新大統領のトランプ氏とも、より良好な日米関係を構築していくよう、大いに期待しています。

また、国内では、4月の熊本・大分に続き、10月には鳥取県中部を中心とする大地震が発生するなど、災害の目立つ1年となりました。日頃の備えの必要性をあらためて感じるとともに、被災された地域の1日も早い災害復旧と、再び安心して暮らせるように、心より願うばかりです。

総合環境企業を目指す私たちタケエイグループは、廃棄物リサイクル事業とともに、新しい取り組みとして、国内5か所でバイオマス発電施設の設置を進めています。すでに青森県平川市・岩手県花巻市で発電をはじめました。平成27年冬より運転を開始した平川市のバイオマス発電施設では、地産地消エネルギーとして、地元の小中学校等に電気を供給しています。また、バイオマス産業都市選定地域となった地元自治体とともに周辺事業についても開発を進めており、発電で生じる廃熱を有効利用し、隣接地に農業用ハウスを設置して高糖度トマトを栽培する準備を進めています。

私ども門前クリーンパークは、タケエイグループの一員として、より安心・安全で地域に貢献できる環境事業を目指してこれまで活動を続けてまいりました。これからも、能登の豊かな自然と共に存できる企業活動を心掛けてまいります。本年も皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

株式会社門前クリーンパーク
代表取締役社長

三本 守



平成28年も、白米千米田の田植えと稲刈りに参加しました

毎年行われるこれらのイベントは、美しい海の瑠璃色と澄みきった空の色、人々の笑顔と賑やかな歓声に包まれます。

5月は田植えとともに御陣乗太鼓の迫力で春を呼び込み、9月は結婚式で実りの秋を体感しています。美味しい楽しく能登の四季を味わいながら、里山里海の繁栄に微力ながらお手伝いできる喜びをかみしめ、今年も参加できる日を心待ちにしています。



タケエイグループが進める「地産地消」バイオマス発電事業の地域や環境とのかかわり



「花巻バイオマスエナジー」が完成しました

(株)花巻バイオマスエナジーでは、岩手県産の間伐材や、松くい虫被害木を原料とする木質チップを燃料に使い発電します。電気は、(株)花巻銀河パワーを通して地域の皆様に供給します。



▲平成28年12月に竣工

金沢市平栗地区における里山づくり

(株)北陸環境サービスの事業拠点である石川県金沢市平栗地区は、豊かな自然に囲まれています。

同社では、地区の方々とともにホタルの住みやすい環境を取り戻そうと、5年前から「ひまわりとホタルの出会いプロジェクト」を開始しました。地元の方から休耕田をお借りして、みんなで耕し、ひまわりの種をまき、草とりに汗を流します。夏になると約3,000本のひまわりが満開になります。そして、地道な活動が奏功し、6月になるとホタルが舞う姿が見られるようになりました。

毎年7月には「平栗夏祭り」を開催し、模擬店やゲーム大会を通して地元の皆様と楽しいひとときを過ごしています。



▲平栗地区の夏に彩りを添える満開のひまわり



▶模擬店やゲーム大会で盛り上がる平栗夏祭り

バイオマス発電の農業連携

高糖度トマト

青森県平川市の(株)津軽バイオマスエナジーでは、発電時に発生する「熱」を利用して、農業に進出します。現在、隣接地に農業用ハウスを建設しており、そこに温風を送り込み、今春より高糖度トマトを栽培する予定です。

地元自治体の平川市は、昨秋、平成28年度バイオマス産業都市(内閣府・総務省・文部科学省・農林水産省・経済産業省・国土交通省・環境省が共同で構築を推進)として選定されました。「平川市バイオマス産業都市」プロジェクトの一環として、タケエイグループも新しい事業に取り組んでいきます。



農業用ハウスへの熱利用

(株)津軽バイオマスエナジー
平川発電所



発電時に発生する
「熱」を利用して栽培

隣接する農業用ハウス



お問い合わせ

株式会社門前クリーンパーク

〒927-2342 石川県輪島市門前町剣地口1番地

TEL.&FAX. 0768-45-1820

<http://www.takeei.co.jp/mzcp/>

皆様のご意見・ご感想をお寄せください。



この情報紙は、株式会社門前クリーンパークが、印刷プロセスで使用する2.34kgのアルミ板をリユースする事で、
CO2排出量を23.81kg削減しました。

株式会社日本スマートエナジー 当CO2削減認証は株式会社日本スマートエナジーがこの印刷システムを審査・確認して与えられたものです。



マイクスカーボンプリティングシステム



ミックス品
FSC認証及び環境負担の少ない
森林からの製品です
www.fsc.org Cert no. SGS-COC-
© 1996 Forest Stewardship Council